

大麻「使用罪」に賛否 厚労省検討会では、依存性を強める懸念も

5/25(火) 10:12 配信  148 

福祉新聞

大麻の使用罪創設を議論している厚生労働省の「大麻等の薬物対策のあり方検討会」（座長＝鈴木勉・湘南医療大特任教授）は5月14日、取りまとめに向けた議論をした。使用罪創設には賛否が分かれ、結論は6月にも開かれる次回会合以降に持ち越された。

使用罪を設けることによる抑止効果などプラスの影響を明確に主張する意見は見られない半面、再犯防止の観点からはデメリットが大きいとする意見が繰り返し主張された。

厚労省は大麻に手を染める若者を減らしたい考えだが、依存症からの回復を支える障害福祉施策とのジレンマは大きい。

現在、大麻取締法は大麻の所持と栽培を禁じているが、使用罪は規定していない。約70年前の法制定時、大麻草を栽培する農家が大麻の成分を吸い込むおそれがあり、使用罪の導入を見送った。

しかし、厚労省が2019年に9人の農家に協力を得て尿の成分を調べたところ、大麻の成分は検出されなかったという。農家が不当に逮捕されるおそれが消えたことから、厚労省は使用罪と罰則を設けたい考えだ。

使用罪の創設に理解を示す委員は複数いるが、「（法的な整合性から）罪を設けない理由がない」「前科のつかない形で罪を設けるべき」といった、いわば消極的な賛成という立場だ。

これに対し、反対する委員は、「逮捕された人は社会に居場所をなくす。その結果、依存性を強めて再犯防止に逆行する」と強調。

実際に取り締まる立場の委員は「屋内で吸うと、同じ部屋の人が受動喫煙して捕まるおそれがある。黙秘されたら逮捕するのは難しい」と語った。

再犯防止推進法に基づく国の基本計画は、薬物事犯について「海外における拘禁刑に代わる措置」を参考に再犯防止策を検討するよう法務省・厚労省に宿題を課している。使用罪の創設はこの宿題と矛盾しかねないだけに、検討会は難しい判断を迫られる。

【関連記事】

渋谷に誕生した高齢者複合施設 珍しい1ユニット7人特養も
かくれ便秘——腹痛の症状に注意（小児科医・十河剛の乳幼児の保健）
介護保険と保険外サービスを提供 東京都と豊島区がモデル事業を評価

最終更新: 5/25(火) 14:33
福祉新聞

¥2,200

¥3,080

¥3,300

SEEK



¥3,300

SEEK



¥3,080



¥1,430

明日をもっと、よく

GUNZE

アクセスランキング（国内）

- 中学生死亡させた57歳男「すごい迫っていた」「100kmで直進」事故直前に繰り返した危険な運転【福岡発】
FNNプライムオンライン 5/25(火) 18:31 
 - 妻殺害翌日に3歳長男が寝言「ママ、ママ」…男「母親を奪った重さ痛感」
読売新聞オンライン 5/26(水) 7:25 
 - 俳優の志村智雄さん死去
時事通信 5/25(火) 20:39 
 - 体温39度でメモ途絶え…特殊清掃業者が見た自宅療養の現実
産経新聞 5/25(火) 21:30 
 - 今夜は皆既月食 今年最大の満月でスーパームーン
ウェザーニューズ 5/26(水) 6:38 
- PR 「ダニが増える時期…」置くだけでほぼ0匹くらしらボ 

Yahoo! JAPAN広告